

ふるさと納税への取り組み強化について

堀 雄一朗 議員

質問 インターネットサイトに返礼品を掲載する自治体が増えるなど、ふるさと納税がブームになっている。当市の取り組みの状況を伺いたい。

市長 ふるさと納税は、魅力ある特産品を返礼品として寄附意欲を喚起させているので、返礼品の選定は非常に重要であり、選定については福生市商工会その他関係団体の協力を得る必要がある。また、クレジットカード決済等、簡単な手続きが寄附喚起を促すので、現在、インターネットサイトの運営会社とも情報交換し、総合的に費用対効果が

得られるような形を模索している。



▲福生市公式HPふるさと納税のPRページ

多摩川護岸工事中断の経緯と対応について

杉山 行男 議員

質問 多摩川の護岸工事が行われているが、有害物質の検出があったと聞く。経緯と今後の予定を伺う。

市長 平成26年度の工事で大量の埋設廃棄物が出て基準値を超えるダイオキシンを確認したため、廃棄物処理を行ったと国土交通省から報告があった。さらに下流側にも廃棄物があるが、その処理は予算確保後に行うため実施年度は未定である。未処理箇所には柵を設置し、水質調査も実施する。市は、多摩川中央公園の土壌調査をしたが、安全性に問題はなかった。廃棄物の早期処理と工

事の早期完成を要望したい。



▲多摩川中央公園付近の護岸工事の様子

横田基地の機能強化に対し市長の考えは

三原 智子 議員

質問 C V - 22オスプレイ配備など日米の軍事的連携強化の動きは住民不安を增幅している。横田基地の機能強化反対の考え方を改めて伺う。

市長 市では、これまで横田基地運用に協力しつつも、国に対しては基地機能のさらなる強化や態様の変化、またオスプレイの配備は容認できない旨、5市1町と共に強く要請してきた。今回の配備報道は事前に何も知らざれず誠に遺憾だが、まずは十分な説明を聞くことが必要である。その上で、5市1町で協議し対応を図るとともに、市としても国に

対して強く働きかけたい。



▲横田基地第5ゲート

福生市版総合戦略をどう考えていくのか

清水 義朋 議員

質問 少子化・人口減少の一方、人口の東京一極集中がある。この中で福生市版総合戦略をどう考えるか。

市長 国は、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向け、中・長期の人口ビジョンと、短・中期の政策目標設定を求めており、5カ年の福生市版総合戦略を今年度策定する。人口動向分析等から年齢3区分別など2060年までの人口展望を描き、それを踏まえて基本目標や施策の体系化を行う。他市に先駆けた定住化対策である新5G施策をもとに、基本

目標と施策を設定し実施したい。



▲内閣府で発行した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

町会・自治会の合併で地域コミュニティの存続を

佐藤 弘治 議員

質問 少子・高齢化の中、町会・自治会への加入率減少に歯止めがかかるない。存続のため合併の動きもあるが、市はどう考えているか。

市長 合併は、地域の連携強化やスケールメリットにより組織基盤が強化され、安定した町会・自治会運営につながる点から期待している。

4月に発足した本町町会でも、合併協議には市の担当課が同席してきた。各種行事など町会間での歴史や文化の違いも含めて円滑に運営していくには、時間と両者の交流促進が必要と思われる。行政としても支援

をしたい。



▲ふれあいフェスティバルで町会・自治会の加入促進をPR

地域包括ケア実現に向け認知症サポーターの養成を

幡垣 正生 議員

質問 統計では認知症サポーターの割合が低い福生市だが、意欲を持つ市民も多いと思う。養成講座の開催計画、社会福祉協議会への働きかけを伺う。

市長 養成講座は、市民には出前講座により開催し、法人向けも実施している。出前講座のメニューのほか、担当職員出席の会議などでも広報しているが、平成27年度は、社会福祉協議会実施の夏体験ボランティア事業の中で、次世代の子どもへのテキストを活用し養成講座を実施する計画である。今後も、社会福祉協議会と連携

しサポーターの増員に努めたい。



▲認知症サポーターのオレンジリング

第65回 福生七夕まつり

8/6(木)~8/9(日)



今年も民踊パレードに参加します!



昨年の七夕まつり
参加風景
民踊パレード